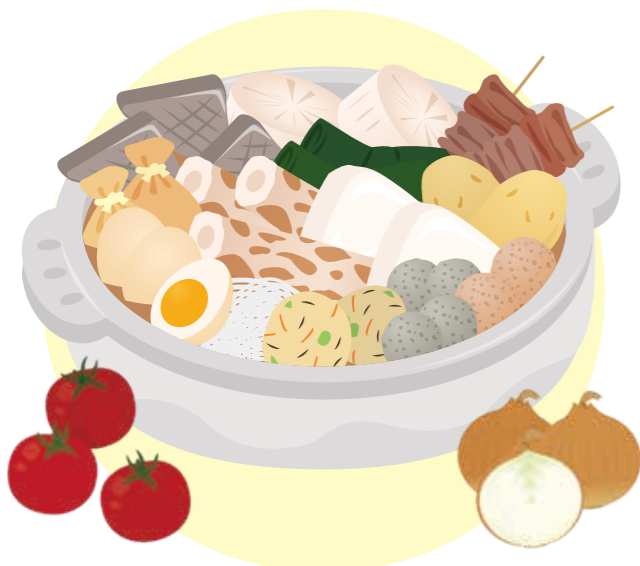


美味しいおでんの作り方 *Winter cooking*



材料(四人分)

- 牛すじ串 4~8本
- ごぼう巻 2~4個
- いわしつみれ 6~8個
- 厚揚げ(三角) 2~4枚
- 大根 約180g
- たまねぎ 12個
- ミニトマト 8個
- 赤みそ 大さじ2
- エクストラバージンオリーブ油 適量

A

- 赤ワイン 50ml
- 本みりん 大さじ2

B

- だし 適量
- トマトの水煮(缶詰/カットタイプ) 1缶
- ローリエ 1枚

作り方

- 鍋にAを入れ煮立てる。アルコール分が飛んだらBを加えて温める。
- 温めたら火を止め、スープに赤みそを溶かし入れる。
- たまねぎは皮ごと電子レンジに1分30秒程かけ、端を切り落とし、皮をむく。
- 大根を厚めに皮をむき、厚さ2cmのいちょう切りにする。大根を耐熱皿に並べ、水をかぶるくらい入れ、ラップをしたあと電子レンジで透き通るくらいまで(約6分)温める。
- ごぼう巻と三角厚揚げは熱湯をまわりかけて油抜きをし、半分に切る。
- 全ての具材を串に刺し、スープに入れて具材がやわらかくなるまで煮る。
- 仕上げにオリーブ油をまわしかける。



Access 石和温泉駅より 徒歩で20分 / 車で5分

編集後記 新年明けましておめでとうございます。地域の皆様はどのようなお正月を過ごされましたか?今年も皆様にとって良い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。気持ちも新たに職員一同、より一層皆様のお役に立てよう頑張っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会

委員長: 四元 宏和
編集長: 浅利 未菜希

編集校正: 山中 裕己

笹森/森屋/塩沢/天川/小林(那)/加藤/古屋/山田/伊藤/三枝

病院概要

診療科目

内科/外科/消化器内科/消化器外科/呼吸器内科/整形外科/脳神経内科/脳神経外科/小児科/眼科/耳鼻科/皮膚科/麻酔科/リハビリテーション科/放射線科/血液浄化センター(人工透析)

設備

マルチスライスCT装置/マンモグラフィー /MRI装置/超音波装置/骨密度測定装置/内視鏡/外科用イメージ/連続血管撮影装置/総合リハビリテーション施設

病床数

総病床数: 150床(一人当たり8m)/血液浄化センター: 20床



笛吹中央病院
FUEFUKI CENTRAL HOSPITAL

広報誌

春夏秋冬

syunkasyuutou

2022
冬号
vol.
61

新年のご挨拶



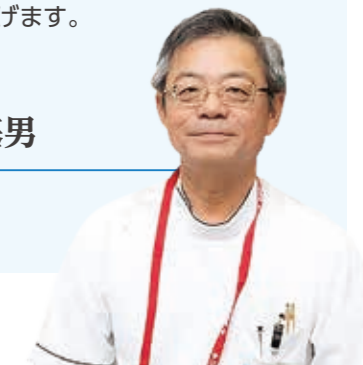
あけましておめでとうございます。

今年も地域の皆さまとご家族が健康で平穏な生活を過ごされることを祈念し、笛吹中央病院の職員一同がそれに対して貢献できるように努力してまいります。この2年近くの期間、新型コロナウイルスの感染により、全世界がこれまで経験したことがないような危機を迎えました。この感染症により、各国で多くの感染者、死者が発生し、医療現場のみならず一般市民の生活に大きな影響を及ぼしました。日本でもこれまでに患者数が爆発的に増えることが5回繰り返され、第5波の時には全国で一日当たりの新規感染者が2万5千人となり、感染者数の爆発的な増加によって自宅療養や宿泊療養となる方も過去最多となりました。幸い、令和3年4月より新型コロナウイルスワクチンの接種が始まり、これまでに全国の8割近い方の接種が済みました。ワクチンの普及、マスク着用、手洗いの実施、三密の回避などの方策のためか、現時点では新規感染者はかなり抑えられています。しかし、変異株の出現に伴い、第6波の襲来の可能性も予想されており、これからも気を緩めることなく、コロナ感染の拡大を防ぐように努力しましょう。令和4年2月からは一般の方のコロナワクチン3回目の接種が当院で始まります。ご自身の安全、周囲の大事な方の安全のためにも、ぜひワクチン接種をお受けください。

笛吹中央病院は、コロナウィルス感染患者の受け入れは行っていませんが、診療、検査施設として、数々の対応を進めてきました。外来受診の発熱患者は一般外来室には入らず、病院敷地内に設置された専用診察室で、オンライン診察、または対面診察が行われ、医師が必要と判断した場合は、肺炎を診断できるCT検査、またコロナウィルスのPCR検査を行ないます。入院が必要な発熱患者は、PCR検査でコロナウィルス陰性が確認できるまで専用病棟に隔離されます。PCR検査で陰性と分かった時点で、一般病棟への入院となり、もし万が一PCR検査陽性の場合、コロナ患者受け入れ可能な重点病院へ移送されます。

当院は平成14年10月の設立から20年目を迎え、笛吹市医療圏における急性期医療、救急体制の担い手として、成長してきました。この2年間新型コロナウイルス感染により山梨県における医療体制が脅かされる中、救急患者、紹介患者受け入れの充実をはかるべく職員一丸となって取り組んでまいりました。今年も、コロナウィルス感染への対応のみならず、救急医療、老人医療、介護医療、健康診断等、地域の皆さまに愛される病院として、頑張るつもりでいます。今年も皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

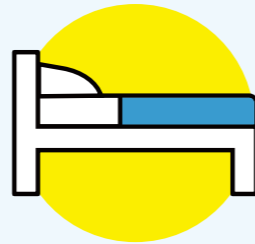
笛吹中央病院 院長 尾崎 由基男



？ 「地域包括ケア病棟」とは…

急性期治療を経過し、病状が安定した患者様に対し、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟です。一般病棟で病状が安定した後、在宅での療養に不安がある方や今まで通りに自宅で生活する事が困難となってしまった患者様の為に当院では「地域包括ケア病棟」を準備し、安心して退院していただけるよう支援していく事が出来ます。

特に「退院支援看護師」が中心となり、医師や看護師、リハビリテーション科のスタッフ、また、ケアマネージャーや地域の介護施設等と連携を図り、在宅復帰に向けて治療・支援を行っていきます。



？ どんな人が入院するの？

基本的には一般病棟より地域包括ケア病棟へ転棟という形で入院となります。

主治医の判断でご本人・ご家族へ説明の後、ご了解いただいた場合、地域包括ケア病棟へ移動となります。基本的な入院期間は、60日を限度とされています。



3階病棟 初鹿 看護師より
「退院について分からない事や不安な点についてご相談下さい。必要に応じて介護保険など社会資源のご案内や支援をさせていただきます。」

？ 「退院支援看護師」とは…

退院支援看護師は名前のとおり、患者様の退院支援と退院調整を行います。退院支援と退院調整の定義は以下のようになっています。

退院支援：
患者様が自分の病気や障害を理解し、退院後も継続が必要な医療や看護を受けながらどこで療養するか、どのような生活を送るかを自己決定するための支援。

退院調整：
患者様の自己決定を実現するために、患者様・ご家族の意向を踏まえて環境・ヒト・モノを社会保障制度や社会資源につなぐなどのマネジメントの過程。

新型コロナウイルスワクチン集団接種・個別接種について

令和3年5月9日より、笛吹市では地域住民に対して新型コロナウイルスワクチン集団接種を開始しています。月に数回の土曜日と日曜日に集団接種が実施され、笛吹市では笛吹中央病院が接種会場となっています。当院職員と笛吹市職員が連携をとり、円滑かつ無事にワクチン接種をすすめることができています。

集団接種では1日に約600人、また平日の個別接種では1日に約70人の来院となりました。集団接種と個別接種で行われたワクチン接種を合計すると、令和3年12月時点で約19,710回という数字になっています。

全国的にまだ先の見えない新型コロナウイルス感染症ですが、対策が功を奏し、以前と同じような過ごしやすい日常に再び戻ることを心より願っております。



マスクの種類と効果

●不織布が適しているシーン

密閉・密集・密接の3密にあたる場面では、不織布マスクの使用を推奨します。特に換気が十分でない場所は布マスクよりも、飛沫の拡散・吸入の防止効果の比較的高い不織布マスクが適しています。該当するのは、電車や映画館といった窓がない・開けられない密閉空間です。

また、オフィス内や学校、商業施設などの不特定多数の人が集まる場所でも、不織布マスクが活躍します。会議室や飲食店といった至近距離で会話するシーンでも、飛沫の予防に適しています。

●布マスクが適しているシーン

布マスクは、不織布マスクよりも飛沫の吸入防止効果は低いですが、飛沫の拡散に対する効果はほとんど変わりません。そのため、周囲の人を感染から守りたいケースでの使用が適しています。例えば、家族に会うときは布マスクを選択するとよいでしょう。

ただし、接触する人に感染の症状がない場合に限られます。

また、屋外では換気がにくい屋内よりも、飛沫を吸い込むリスクが下がるため、布マスクを選ぶのも1つの方法です。

ただし、不織布・布どちらを選択したとしても、マスクの使用方法が誤っていれば、着用の意味が薄れてしまいます。顔にフィットするものを選び、外すときは紐の部分を持ちましょう。着脱時・着用中に、ウイルスが付着しているリスクの高い、口の部分に触れてはいけません。

■マスクやフェイスシールドの効果(スーパーコンピューター「富岳」によるシミュレーション結果)

対処方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		不織布	布マスク	ウレタン		
吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50%*	80%	90%*
吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65%*	60-70%*	小さな飛沫に対しては効果なし(エアロゾルは防げない)	

※豊橋技術科学大学による実験値

山梨県より県政功績者として
当院のDMAT (災害派遣医療チーム) が表彰されました



表彰代表者 総務課 野口課長代理

2021年11月に山梨県から今年度の県政功績者56名と57団体が発表されました。3名と55団体が新型コロナウイルス感染症対策に貢献した個人や団体として選出され同月25日に執り行われた表彰式では、長崎山梨県知事より特別功績と特別感謝状が贈られました。笛吹中央病院はDMAT職員の県新型コロナウイルス感染症関係総合対策本部等での患者の入院調整や情報管理等に関する活動にご評価をいただきこの度、表彰されることとなりました。災害が発生した際には地域と連携した災害医療を行い、皆様の生活の安心に貢献ができるよう「信頼される病院/愛し愛される病院」を目指しこれからも尽力していきたいと思っております。